

公開シンポジウム「紀伊半島の自然災害と防災教育を考える」にて 大規模土砂災害対策技術センター員が講演

～紀伊山地砂防事務所～

平成27年12月12日（土）、奈良教育大において大学関係者の防災意識と知識の向上につなげることを目的としたシンポジウムが開催されました。

奈良県内では平成23年台風12号による大規模な土砂災害が発生していることから、今回は土砂災害をテーマに台風12号による土砂災害の概要や、土砂災害発生機構と防災・減災対策、防災教育の実践について話し合いました。

大規模土砂災害対策技術センターからは、「紀伊半島大水害における土砂災害とその対応」と題した講演を行い、平成23年台風12号による土砂災害の概要と、国土交通省の対応について報告しました。



シンポジウムが行われた奈良教育大学



大規模土砂災害対策技術センター員の講演風景

赤谷地区と奥吉野実習林

- 深層崩壊が発生した赤谷地区は、奈良教育大学教育学部附属自然環境教育センターに付属する奥吉野演習林であり、自然教育や自然環境教育のための拠点として利用されていました。
- 奈良教育大では平成23年の災害を契機に、今後は防災教育の活動拠点としての使用も視野に入れており、国土交通省や五條市との連携を検討しています。



黄破線の範囲が奥吉野実習林

開催日：平成27年12月12日（土）
場 所：奈良教育大学（奈良市高畑町）
参加者：約150名
主 催：奈良教育大学自然環境教育センター、
理数教育研究センター、保険センター

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代）

